

【全年次】

“単位さえもらえれば良い” その考えは正しいのでしょうか？ 来週は「前期末試験」少しでも勉強時間を確保しよう！



いよいよ来週は前期末試験です。当たり前のことですが、高校生であるからには、しっかりと勉強をしてから「試験」を受ける必要があります。ノートなどの資料の持ち込みが許可されている場合には、それらの準備も含まれます。

皆さんは“当たり前のこと”に取り組んでいますか？

(1) “良い成績をとる必要は無い” という誤った考え

生徒の皆さんからは、“2”を取ればいいんだよね？”という話をよく聞きます。でも、それは本当に正しい考えなのでしょうか？

(2) 成績が悪いと様々なことで不利に・・・

奨学金

奨学金には原則として返還する必要の無い「給付型」と返還が必要な「貸与型」があります。いずれにしても、希望者が多く、誰でも受けられるわけではありません。

奨学金の支給は、主に次に挙げる項目が判断基準となります。

「出席または欠席日数」(学校行事等も含む)、「学校内外での授業以外の活動」(部活動・ボランティア活動・家庭での役割等)、「学校からの推薦内容」(学校での皆さんの様子をもとに作成)そして「成績」です。

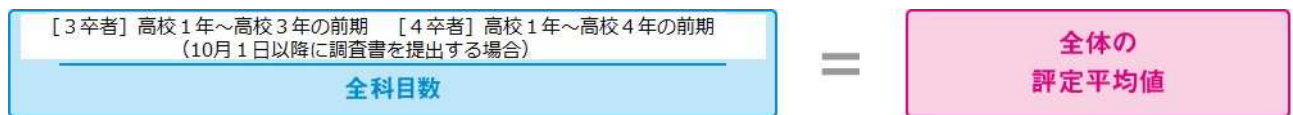
「推薦文」などと異なり、「成績」や「出席または欠席日数」は数値で現れるものなので、他者と比較しやすいという特徴があります。

進学

大学や専門学校、産業技術短期大学校等に進学する場合には進学用の「調査書」の提出を求められます。

次の表は調査書に記載される「評定平均値」「学習成績概評」の説明です。

例えば、全体の平均評定値が4.3～5.0という優れた成績の生徒は概評が「A」と記載されます。



| | | | | | |
|----------|---------|---------|---------|---------|-------|
| 全体の評定平均値 | 5.0～4.3 | 4.2～3.5 | 3.4～2.7 | 2.6～1.9 | 1.8以下 |
| 学習成績概評 | A | B | C | D | E |

進学希望のほとんどの生徒は「推薦制度」を活用します。また、多くの大学・専門学校が独自の「推薦基準」を設けています。ある大学の「推薦基準」を示します。

以下の条件をすべて満たした生徒を受験対象者とする。

- 高等学校または中等教育学校を平成31年3月卒業見込みの者
- 高等学校または中等教育学校（後期課程）の全体の評定平均値が3.5（Bランク）以上の者
- 高等学校または中等教育学校（後期課程）の欠席日数が10日以内の者
- 学校長が推薦した者


就職

就職は、ハローワークの発行した求人票をもとに就職活動を行います。求人票には「評定平均値が3.5以上の者」のような表記はあまり見かけません。しかし、履歴書以外にも就職用の調査書を提出しなければなりません。調査書には皆さんの普段の様子を書いた内容だけでなく、各科目の成績や欠席日数も記載されています。

特に就職希望者の多い企業等では、面接や筆記試験で良い成果を上げて、学校の成績が原因となり、内定をいただけないケースもあります。

来週からの試験は、成績を大きく上げるチャンスです。しっかりと準備して臨みましょう。

〔引用（一部改）〕

 マイナビ進学

「ふりがな」つきは裏面へ